

aiai 利用者マニュアル

aiai (<https://ai.ai.aiseed.dev/>) は、ふだん使っている AI に読ませる手引きと、手引きの一部を Google Cloud の Gemini で試せる aiai のアプリ([Web のアプリ](https://ai.ai.aiseed.dev/app/) (<https://ai.ai.aiseed.dev/app/>))と、スマートフォンのアプリ)です。このマニュアルは、手引きの使い方と、いちばん大事な使い方である「AI に何度も頼んでいることを、アプリにする」流れを、順に説明します。

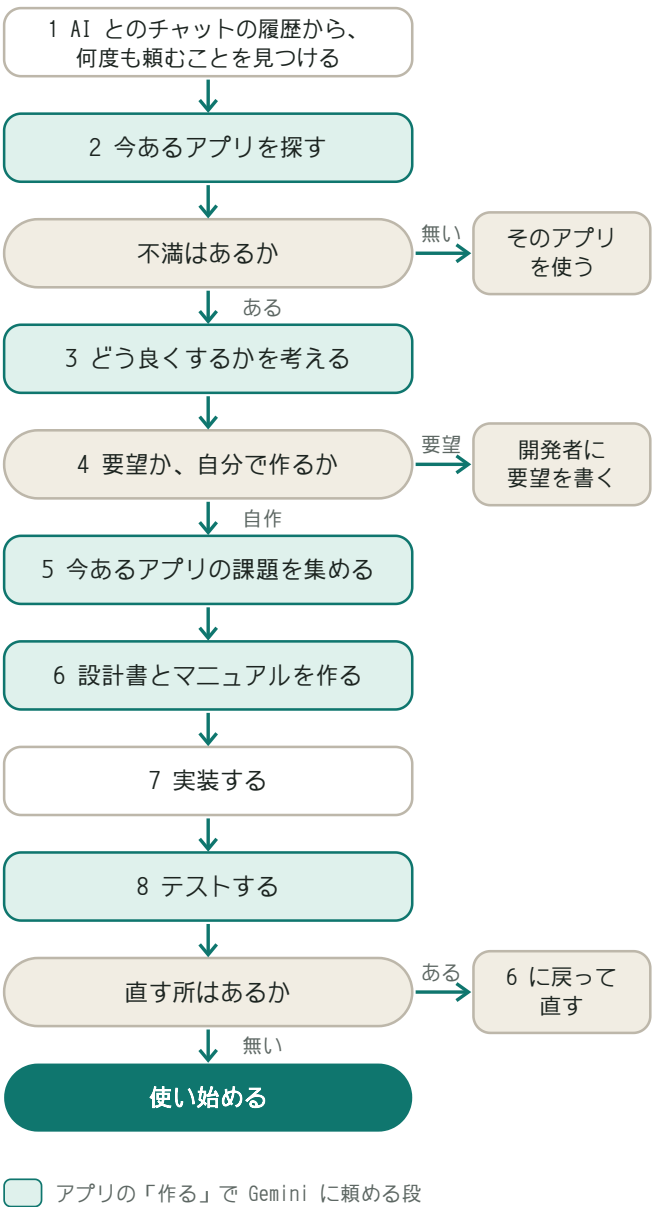
1. 手引きを AI に読ませる
2. アプリを作る流れ
3. アプリの「作る」を使う前に
4. 1 AI とのチャットの履歴から、何度も頼むことを見つける
5. 2 今あるアプリを探す
6. 3 どう良くするかを考える
7. 4 要望か、自分で作るか
8. 5 今あるアプリの課題を集める
9. 6 設計書とマニュアルを作る
10. 7 実装する
11. 8 テストする
12. 直す所はあるか
13. ほかの手引き
14. 一緒に使う物
15. 知らせが出たとき

手引きを AI に読ませる

手引きは、AI への決まりを書いたファイル(SKILL.md)で、AI はスキルとして読みます。サイトの手引きのページを開き、「スキルをコピー」を押して、ふだん使っている AI に貼ります。AI が、あなたに聞きながら進めます。どれを作るか、どう直すかを決めるのは、あなたです。

AI	読ませ方
Claude	手引きのページから ZIP を落とし、スキルとして上げます
Gemini	SKILL.md か ZIP を、スキルとして上げます
ChatGPT	コピーして貼ります。スキルが使えるワークスペースなら、スキルとして入れます
Microsoft 365 Copilot	企業用の場合は、管理者に入れてもらいます

アプリを作る流れ



色の付いた段は、アプリの「作る」で Gemini に頼めます。

段	すること	どこで
1 AI とのチャットの履歴から、何度も頼むことを見つける	何度も頼んでいることを数え、同じ作業か、同じ直しかを分ける	ふだん使っている AI
2 今あるアプリを探す	似たことをしているアプリの、機能、料金、問題点を知る	ふだん使っている AI か、アプリの「作る」
不満はあるか	無ければ、そのアプリを使う	自分で決める
3 どう良くするかを考える	不満を具体的にし、どうなればよいかを決める	ふだん使っている AI か、アプリの「作る」

段	すること	どこで
4 要望か、自分で作るか	要望なら、開発者に要望を書く	自分で決める
5 今あるアプリの課題を集める	問題点を、出典付きの資料にする	ふだん使っている AI か、アプリの「作る」
6 設計書とマニュアルを作る	SKILL.md を書き、設計書と利用者マニュアルを作る	ふだん使っている AI(SKILL.md)と、アプリの「作る」
7 実装する	設計書どおりに作る	ふだん使っている AI(コードを書ける物)
8 テストする	マニュアルのとおりに使えるか、5の問題点が起きないかを確かめる	自分と、ふだん使っている AI。手順はアプリの「作る」でも作れる
直す所はあるか	あれば 6 に戻って直す。無ければ使い始める	自分で決める

ふだん使っている AI には、aiai の手引き「度々聞いていることを、アプリにする」を読ませます。[手引きのページ](https://aiai.aiseed.dev/skills/rireki.html) (https://aiai.aiseed.dev/skills/rireki.html)か、トップページの流れの 1 の段の「スキルをコピー」でコピーして貼るか、スキルとして入れます。

トップページの「作るまでの流れ」でも、同じ流れが見られます。段を押すと説明が開き、色の付いた段の右の「Gemini で試す」を押すと、アプリの「作る」のその段の欄に移ります。

アプリの「作る」を使う前に

サインイン

トップページの段の「Gemini で試す」を押すと、サインインしていなければ、サインインの画面が出ます。ID とパスワードを入れて「サインイン」を押すと、その段が開きます。書いて、「探す」などのボタンを押します。

初めての人は、サインインの画面の「新しく登録する」を押します。ID(3~32 字の小文字の英数字と -)と、パスワード(8 字以上)を決め、パスワードをもう一度入れて「登録する」を押します。メールアドレスは要りません。

登録しただけでは、Gemini には頼めません。持ち主が承認すると、頼めるようになります。承認される前にボタンを押すと、「承認されるまで、Gemini には頼めません」と出ます。

サインインは、ページを読み込み直しても、閉じて開き直しても、30 日まで続きます。

サインインすると、上に、名前と「今日あと: N 回」(開いている段で、その日に使える回数)が出ます。終わるときは「サインアウト」を押します。

知っておくこと

- 対話は、サイトに記録されません。続きを、ふだん使っている AI で進めるときは、要る所をコピーしておきます
- 探す、集める、作るの仕事は、数分かかります。頼んだ欄の下に、進み具合が出ます。ページを閉じても進みます。もう一度サインインすると、一覧に出ます
- できた物は 7 日で消えます。残したい物は、「まとめてダウンロード(ZIP)」で保存します
- 渡せる資料は、.md、.adoc、.txt と、それを入れた ZIP です。合わせて 2 MB までです
- できた結果の下には、次の段へ進むボタンが出ます。押すと、次の段の欄で、その結果が選ばれます。「読ませる結果」の欄は、選べる結果があるときだけ出ます
- 仕事が止まったら(一覧に「止まりました」)、もう一度頼めます。止まった仕事は、その日の自分の回数に数えません

1 AI とのチャットの履歴から、何度も頼むことを見つける

ふだん使っている AI に、手引きを読ませてから、たとえば次のように頼みます。

これまでのチャットで、私が何度も頼んでいることを数えてください。

AI が、度々頼んでいること、毎回手間がかかっていることを、回数の多い順に並べます。どれをアプリにするかは、自分で決めます。同じ直し(「余計な説明を書かないで」など)の繰り返しは、アプリにせず、AI への決まりに書きます。

PC の AI の道具(Claude Code など)の記録や、書き出した履歴のファイルは、[aiai のアプリ](#) (<https://aiai.aiseed.dev/app/>)の「記録」のタブで、AI に渡す材料のファイルにできます。Claude Code は、既定では 30 日より前の記録を消します。前の記録も使いたいときは、Claude Code の設定 `cleanupPeriodDays` で日数を延ばします。デスクトップアプリと Cowork で始めたか、最後に続けた記録は、既定では消えません(Claude Code Docs「Data usage」、<https://code.claude.com/docs/en/data-usage>、2026-10-14 に確かめました)。

2 今あるアプリを探す

1. アプリの「作る」の「2 今あるアプリを探す」で、「何度も頼んでいること」に、AI に何度も頼んでいることを書きます
2. 「探す」を押します
3. 下の一覧に、進み具合が出ます。「できました」になると、調べた結果が、そのまま読める形で出ます

使ってみて、不満が無ければ、そのアプリを使います。不満があれば、次へ進みます。

- 「この結果で、どう良くするかを考える」：「3 どう良くするかを考える」に移ります

- 「この結果で、課題を集める」：自分で作ると決めているときは、「5 今あるアプリの課題を集める」に移ります

3 どう良くするかを考える

不満は、具体的に書きます。どのアプリの、どの場面で、何が困るのが分からないと、Gemini も一緒に考えられません。

1. アプリの「作る」の「3 どう良くするかを考える」で、「困っていること」を書きます。どのアプリの、どの場面で、何が困るのがかを書きます。「今あるアプリを探す」の結果があれば、「読ませる結果」で選べます
2. 「考える」を押します
3. Gemini が聞いてきたことに答えて、「送る」を押します。不満が具体的にになるまでは、Gemini は案を出しません
4. 初めからやり直すときは、「初めから」を押します

最後に、4 を決めるための材料がまとまります。対話は記録されないので、要る所はコピーしておきます。

4 要望か、自分で作るか

自分で決めます。

- 開発者に要望を書いたら、ふだん使っている AI に、3 で分かったことを渡して、要望の文を下書きさせます。流れはここで終わりです
- 自分で作るなら、5 に進みます

5 今あるアプリの課題を集める

探したアプリの問題点を集めます。できる資料は、手引きの手順 5 の資料(`references/<名前>-analysis.adoc`)です。

1. アプリの「作る」の「5 今あるアプリの課題を集める」で、「読ませる結果」に、「今あるアプリを探す」の結果を選びます
2. 「集める」を押します
3. 「できました」になると、課題の資料がそのまま出ます。保存するときは「まとめてダウンロード (ZIP)」を押します

資料には、アプリごとに「利用者にとっての問題点」と「運営の作りの問題点」が、読んだページと一緒に並び、最後に「作るアプリで防ぐこと」があります。次へ進むときは、「この資料で、設計書とマニュアルを作る」を押します。

6 設計書とマニュアルを作る

まず、作るアプリの決まり事を、SKILL.md に書きます。手引きの「アプリの SKILL.md の形」に沿って、ふだん使っている AI と書きます。誰に使ってもらうか、無料か、どこで動かすか、サインインをどうするかは、自分で決めます。

次に、設計書と利用者マニュアルを作ります。

1. アプリの「作る」の「6 設計書とマニュアルを作る」で、5 の資料を読ませるなら、「読ませる課題の資料」で選びます
2. 「資料を選ぶ」で、SKILL.md と参考の資料(または、それを入れた ZIP)を選びます
3. 「作る」を押します
4. 10 分ほどかかります。「できました」になると、利用者マニュアルと画面の絵が出ます。設計書と照らし合わせの記録は、題を押すと開きます。「まとめてダウンロード(ZIP)」で保存します

ZIP には、設計書(docs/design.adoc)、利用者マニュアル(docs/manual.adoc)、画面の絵、2 つを照らし合わせた記録(docs/kakunin.adoc)が入っています。マニュアルを読んで、使う人がすることが、思ったとおりかを確認めます。違っていたら、SKILL.md を直して、もう一度作ります。

7 実装する

コードを書ける、ふだん使っている AI(Claude Code、Codex、Gemini CLI など)に、SKILL.md、設計書、利用者マニュアルを読ませて、たとえば次のように頼みます。

SKILL.md と設計書のとおり、このアプリを作ってください。

何を作るかは、SKILL.md と設計書で決まっています。AI には、コーディングを任せます。作っている間に、設計書や利用者マニュアルを直してもかまいません。直したら、AI にもう一度読ませます。

8 テストする

1. アプリの「作る」の「8 テストの手順を作る」で、「読ませる設計書とマニュアル」に、6 の結果を選びます。ほかで作った設計書や利用者マニュアルは、「資料を選ぶ」で選びます
2. 「作る」を押します
3. 「できました」になると、テストの手順がそのまま出ます。保存するときは「まとめてダウンロード(ZIP)」を押します
4. 手順のとおり、作ったアプリを自分で使い、「確かめ」の欄に結果を書きます
5. ふだん使っている AI に、テストの手順の「試験に書くこと」を読ませ、試験を書かせて動かします

テストの手順には、マニュアルの操作ごとに、することと、そうなるはずのことが並び、5 の問題点ごとに、起きないことの確かめ方が書いてあります。

直す所はあるか

- 直す所があれば、6 に戻ります。まず SKILL.md を直し、設計書と利用者マニュアルを直してから、アプリを直し、もう一度テストします
- 直す所が無ければ、使い始めます。使う人には、利用者マニュアルを見せます

使い始めてからも、利用者マニュアルを見ながら、直したい所を AI に話しかけます。

ほかの手引き

手引き	使うとき
Web サイトを作る (https://aiai.aiseed.dev/skills/website.html)	自分で作ると決めたとき。公開してよい事実だけで、静的なページを作る
申し込みを受ける (https://aiai.aiseed.dev/skills/moushikomi.html)	Apple ID か Google ID でサインインした人から、置き置きや予約を受ける
現場で VLM を使う (https://aiai.aiseed.dev/skills/genba.html)	畑、店、空き家、民泊の写真や映像を AI に読ませ、判断を助ける
読まれ方の記録で、サイトを直す (https://aiai.aiseed.dev/skills/kaiseki.html)	読む人がどこで読み、何を探しているかを、Cookie を置かずに記録し、ページを直す
自分のシステムを、自分で管理する (https://aiai.aiseed.dev/skills/kanri.html)	毎日のログを数えて AI に読ませ、自分のサーバーを守る
自分の分野のニュースを作る (https://aiai.aiseed.dev/skills/news.html)	分野、地域、件数、扱わない物を決めて、毎朝の下書きを作らせる
転職を考える (https://aiai.aiseed.dev/skills/tenshoku.html) ・ AI の時代、何を学ぶか (https://aiai.aiseed.dev/skills/gakusei.html) ・ 自然農法の経営計画 (https://aiai.aiseed.dev/skills/keikaku.html)	必要なときに

一緒に使う物

- **aiai tools** (https://aiai.aiseed.dev/shoukai/aiai-tools.html): 会社や団体の仕事も受けるとき、会社の IT を OSS と AI で自分の側に置くためのスキル
- **officework** (https://aiai.aiseed.dev/shoukai/officework.html): Office の書類を、Microsoft Office なしで読み書きする、文書と表計算の OSS。書類は adoc で持つ
- **個人開発気象統計** (https://aiai.aiseed.dev/shoukai/weather.html): 気象庁のデータから、全国の地点の気温の順位や雨温図を出す、個人のサイト。AI と一緒に作った実例

知らせが出たとき

知らせ	すること
今日の分(N 回)は使い終わりました。明日またどうぞ	明日、使います
今日の受け付けは終わりました。明日またどうぞ	明日、使います
何度も頼んでいることを書いてください	書いてから「探す」を押します
困った場面と、困ったことを書いてください	書いてから「考える」を押します
読ませる結果を選んでください	先に 2 の「探す」を動かし、その結果を選びます
SKILL.md と参考の資料を選んでください	「資料を選ぶ」で SKILL.md を入れた資料を選びます
読ませる設計書とマニュアルを選ぶか、資料を選んでください	「読ませる設計書とマニュアル」を選ぶか、資料を選びます
読ませられるのは、できあがった「…」の結果です(または資料です)	一覧で「できました」になってから選びます
資料が入っていません(.md、.adoc、.txt か、それを入れた ZIP)	渡せる形の資料を選びます
資料が大きすぎます(2 MB まで)	資料を減らします
対話が長くなりました。続きは、ふだん使っている AI で進めてください	要る所をコピーし、ふだんの AI で続けます
ID かパスワードが違います	書き直します
今日は、この ID では入れません	明日、入ります
この ID は使われています	別の ID を決めます
2 つのパスワードが同じではありません	もう一度入れ直します
承認されるまで、Gemini には頼めません	持ち主の承認を待ちます
一覧に「止まりました」と出た	もう一度頼みます。止まった仕事は、自分の回数に数えません